

【まちの動きを調査】

～見たい・聞きたい・知りたい!～

常任委員会クローズアップ 産業建設常任委員会のうごき

忠類育苗センター苗木生産事業を廃止へ
～所管事務調査(令和元年7月24日)～



平成13年3月、旧忠類村が北海道から「苗木生産事業」を引き継いで、トドマツとアカエゾマツの苗木を生産して道有林などに販売をしてきました。

平成24年度までは収支が黒字でしたが、台風や霜の自然災害、高規格道路の整備で圃場が分断され水の通り道が変わった事などで出荷本数が減少し赤字となりました。

一定の役割を終えたことや収支状況、今後の出荷見込みなどから事業廃止に向けた検討を進めているとの説明を受けました。

◆委員からの主な質疑(抜粋)

- Q: 苗木生産の現在の状況は。
A: 平成30年度で播種は終了し、苗木の出荷が令和6年度に終了となる。
- Q: 忠類で出荷していたトドマツの需要への対応は。
A: 民間の事業者で担うことになる。
- Q: 民間の事業者は採算が取れるのか。
A: 町で購入できる種子の種類や量は限定され、北海道との覚書により売払先も限られる。民間事業者は流動的に対応できる部分もある。

安心安全な町道管理を目指して
～所管事務調査&意見交換会(令和2年1月31日)～

委員会の重点課題として「町道の管理について」継続的に調査しています。町道の状況について町から説明を受け、その後、幕別企業協同組合ならびに忠類事業協同組合の皆さんと意見交換会を開催しました。

【所管事務調査(土木課の説明と質疑)】

- 主に、
- ・各町道の状況や今後の見通し
 - ・委託事業者への最低補償
 - ・町と組合の事故発生時の連絡体制などで質疑が重ねられました。

【意見交換会】

- 主に、
- ・委託体制の充実に向けて
 - ・多岐に渡る住民ニーズへの除雪対応について
 - ・オペレータの確保について
- など、今後の継続的な調査につながる充実した意見交換になりました。



編集後記

「見えない敵」新型コロナウイルス感染症は、2月末に十勝管内でも感染が確認され、感染防止対策の一環で自粛の要請があり、会議や集会など延期か中止、学校も休校となるなど大きな影響が出ています。

町議会としては、3月定例会で予定した「ナイター議会」を中止し、一般質問は書面でのやり取りとするなど、初めての対応となりました。

予算審査は、新年度事業の基本となりますので、通常どおり審査し、他の議案の審議を経て閉会しました。

一刻も早く終息に向かうことを祈りつつ、一人ひとりが予防に努めるしかありません。

小川純文

議会広報広聴委員会
委員長 内山美穂子 副委員長 荒 貴賀
委員 石川康弘 小田新紀 小島智恵 若山和幸
岡本眞利子 酒井はやみ 小川純文

お知らせ

議会だより200号(令和2年8月発行)の表紙については、記念企画を検討しています。「表紙写真の募集」は、お休みします。

ご意見・ご感想をお寄せください

「議会だより」に関するご意見・ご感想、「議会」に関するご質問など、みなさんの声をお待ちしています。ご意見等は議会事務局へのメール、または電話(左側に記載)などをお願いします。



議会メールで



議会ホームページ